



## 日中国交正常化50周年記念 「傅益瑶画伯特別講演会」

先頃、長野県立美術館で開催された長野県とゆかりの深い現代中国画壇を代表する水墨画家・傅益瑶と、その父で20世紀中国絵画の巨匠・傅抱石による初の「父娘展」（7月23日～9月11日）は大盛況のうちに閉幕しました。ご鑑賞いただき有難うございました。さて下記の通り特別講演会を開催します。

傅益瑶さんは南京で三女として生まれ、大学入学直後に父が世を去り、文化大革命に遭遇。国費留学の東京藝術大学で平山郁夫先生に師事し、敦煌壁画の研究に従事。「日本の祭り絵」シリーズでは百を超す祭りを描き県内でも「諏訪大社御柱」「善光寺御開帳」を奉納。京都の「三千院四季」、比叡山延暦寺の「仏教東漸図」など障壁画の集大成ともいふべき大作を描いています。俳句の世界に心惹かれ、松尾芭蕉・小林一茶の詩意画を生み出し、近年は景德鎮で焼かれた白磁に山水風景を描き、伝統の墨絵で日本文化の真髄を表現しています。

今回は傅益瑶さんに、これまでの人生と水墨画家として日中友好の架け橋への思いなどについて語っていただきます。

- ・主催 長野県日中友好協会、長野県日中友好協会女性委員会
- ・日時 10月26日（水） 12時30分～14時
- ・会場 長野市トイゴ4F 大会議室 ☎252-7151
- ・参加費 無料

### ・申込み、問合せ先

日中女性委員会関係：☎090-4935-5894（松原）

一般参加者：メール（[ootsuki@spak.jp](mailto:ootsuki@spak.jp)）または☎090-1703-6623（大月）

\*新型コロナ対策のため事前申し込みをお願いします。